

地球温暖化対策実行計画実施状況の点検・評価

和歌山県後期高齢者医療広域連合地球温暖化対策実行計画に基づき、取組み実績及び取組み項目の実施状況を点検し、公表します。

1. 温室効果ガス排出量実績

年度	サーバー室 電気使用量(kWh)	ガソリン 使用量(ℓ)	温室効果ガス排出量 (二酸化炭素ガス排出量 kg)	削減率
2019年度 (令和元年度)	25,139	441.98	11,961	(基準年)
2020年度 (令和2年度)	16,168	711.91	7,149	-40.23%
2021年度 (令和3年度)	14,896	821.64	7,300	-38.97%
2022年度 (令和4年度)	15,291	622.97	6,017	-49.69%
2023年度 (令和5年度)	15,896	935.08	7,892	-34.02%
2024年度 (令和6年度)	16,451	922.68	9,006	-24.71%
2025年度 (令和7年度)	12,110	988.55	7,290	-39.05%
2029年度 (令和11年度)	22,625	397.782	10,765	(目標) 10%削減

2. その他の取組み状況と評価

基準年度である令和元年度の温室効果ガス排出量から39.05%の削減となり、「令和11年度に10%削減」という目標を上回る削減率を保っている。

昨年は機器更改に伴うサーバーの平行稼働により電力使用量が一時的に大幅に増加したが、今年度は使用料が平準化した。加えて、不必要な消灯を徹底したことで、さらなる削減を達成した。

ガソリンの使用量は、過去最多を記録したため、近距離移動時の徒歩・自転車利用を職員へ周知し、削減できるよう取組みを進めたい。